

オーロラ・大気光測光装置用可搬型較正器の開発 - Portable Calibrator for Auror and Airglow Photometer-3

木山 喜隆[1], 塩川 和夫[2], 中村 卓司[3], 高橋 幸弘[4], 岡野 章一[5], 小川 忠彦[6]

Yoshitaka Kiyama[1], Kazuo Shiokawa[2], Takuji Nakamura[3], Yukihiro Takahashi[4], Shoichi Okano[5], Tadahiko Ogawa[6]

[1] 新潟大・理・物理, [2] 名大STE研, [3] 京大・宙空電波, [4] 東北大・理・地球物理, [5] 東北大・理, [6] 名大・STE研

[1] Department of Physics, Niigata Univ, [2] STE Lab., Nagoya Univ., [3] RASC, Kyoto Univ., [4] Dept. Geophysics, Tohoku University, [5] PPARC, Tohoku Univ., [6] STE Lab., Nagoya Univ

可搬型較正器は色温度 3200K、平均寿命 100 時間で、消費電力 500W のハロゲンランプを光源とした分光器から、波長幅 0.1nm の出力光を積分球に導くか、またはほぼ均一に拡散できる暗箱に導き、終端のオパールガラスから均一な拡散光を得て、その分光エネルギーを決定した 2 次標準の分光面光源を製作し、国内の観測基地にある測光装置を現場で較正する。

この可搬型較正器の仕上がり状況について報告する。